

芦屋市議会議員

大原ゆうき



<http://oohara-yuuki.jp>



大原 裕貴



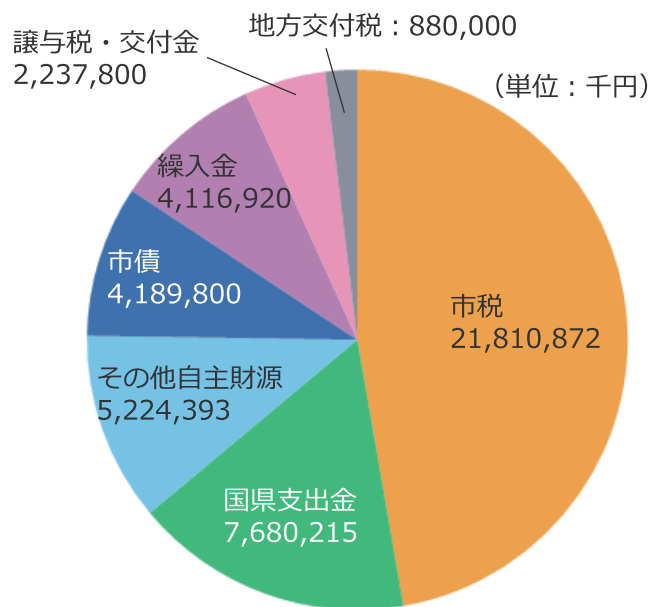
@ooharayuuki

平成30年3月定例会特集

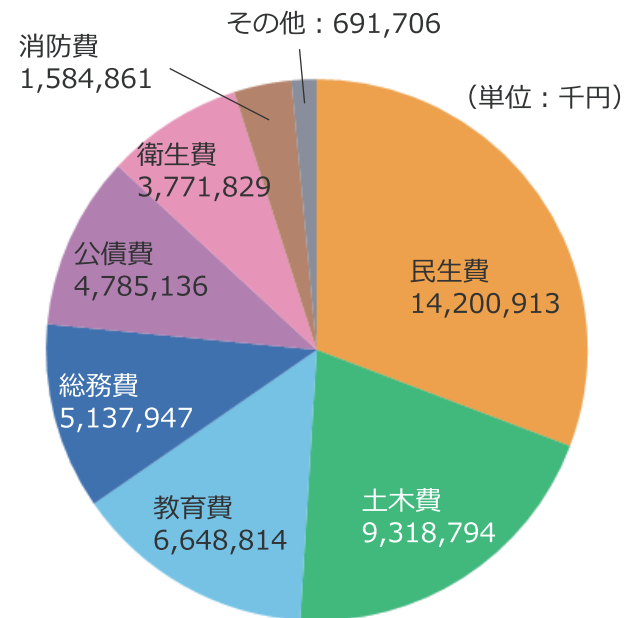
新年度予算案が可決。新年度注目の事業は！？

1. 一般会計 歳入・歳出

◆ 歳入：461億4000万円（前年度比：99.6%）



◆ 歳出：461億4000万円（前年度比：99.6%）



2. 注目したい事業

1) 認可外保育施設利用者補助事業【新規】

1079万7000円（財源：市1079万7000円）
やむを得ず、認可外保育施設を利用している
0～2歳乳幼児の保護者に対し、利用料の一部を助成。
※ただし、施設整備が完了するまでの4年間に限る。

2) JR芦屋駅南地区市街地再開発事業【継続】

22億4106万5000円（財源：国7億7293万9000円、
市債5億7790万円、市8億9022万6000円）
用地取得及び施設建築物の実設計を実施。
費用が莫大で、定期的な確認が欠かせない事業。

3) ホームページ「総合お問い合わせフォーム」の改善

現在、文章のみの問い合わせフォームに画像を添付
できるように改善される。写真等を添えて報告できる
ことで、より正確な情報伝達が可能に。

4) 都市施設の整備に関する基本方針の検討に要する経費【新規】

587万2000円（財源：587万2000円）
阪神電車の立体交差化を含めた都市整備について
総合的に検討する事業。阪神電車の立体交差化は
検討対象となるのも初めて。市内の交通渋滞や
事故リスクを考えると一定の必要性があり、前進。
しかし、事業化となると莫大な事業費が必要となる。
定期的な確認は欠かせない。

新年度予算から見た芦屋市の状況について

1. 芦屋市の特徴

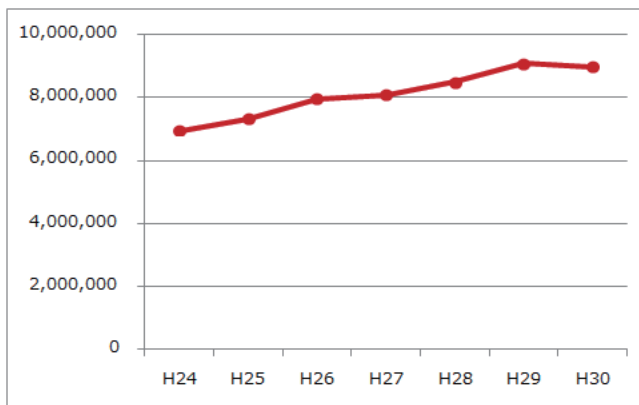
- ・一般会計のうち、半数近く（約47%）を市税が占める。
- ・市税のうち、市民税の占める割合は約56%で、固定資産税の占める割合は約33%。
- ・市民税のうち、個人市民税の占める割合は約94%で法人市民税の占める割合は約5%。

⇒芦屋市の歳入の約25%が個人市民税。約15%が固定資産税となっている。
また、法人市民税が極端に低いのも特徴的。

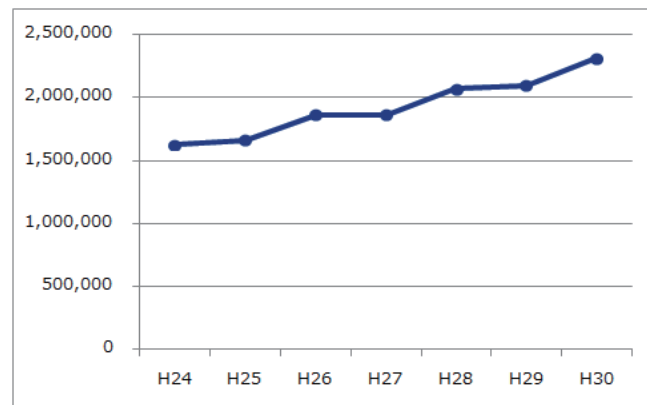
2. 高齢者にかかる費用の推移について

高齢者にかかる主な費用として、介護保険事業と後期高齢者医療費事業がある。
これらは年々増加しており、団塊世代が後期高齢者（75歳以上）になる2025年には、事業費の更なる上昇が予想される。

◆介護保険事業費推移（単位：千円）



◆高齢者医療事業費推移（単位：千円）



3. 進めていく必要があると考える施策

現状の問題を考えると、以下の取り組みが必要であると考えます。

- ・**現役世代の取り込み**
高齢者世代を支える層の維持、長期的な担税能力がある市民の確保に繋がる。
- ・**介護予防施策**
介護保険事業費、高齢者医療費の抑制に繋がる。
健康寿命の引き上げは高齢者にとっても望むべきこと。
高齢者の知識やノウハウの伝承にも役立つ。
- ・**起業、創業支援**
法人市民税の獲得に繋がる。場合によっては個人市民税獲得の可能性も。
また、対象を若年層に絞ることで、現役世代の取り込みにも繋がられる可能性がある。

大原ゆうき プロフィール

- ・昭和59年（1984年）2月8日 芦屋生まれ（34歳）
- ・シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。
卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- ・平成27年4月26日の統一地方選にて2793票ものご期待を頂戴し、初当選。

ブログ更新中！

議会活動の透明化のため、日々の活動などを更新し、情報公開力アップに努めています！

<http://oohara-yuuki.blog.jp/>

